



SEVENTY-TWO

ユーザーガイド

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク



このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。



このマークは、適切な電圧で機器をしようしないと、感電の恐れがあるという警告です。



このマークは、ご利用出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、以下の使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を必ずお読みください。
2. 注意事項を必ずお守りください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しなしてください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しなしてください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むその他の音楽機器など、熱を生じる機器の近くには置かないで下さい。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに乗せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフターサービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドフォンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
17. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
18. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。



このマークのついた製品は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に、アダプタのアース線を接地してご使用ください。

inMusic Japan 株式会社 カスタマーサポート部

東京都港区南麻布 3-19-23 オーク南麻布ビルディング 6 階

[サポート] rane-dj.jp/support

[Web] rane-dj.jp/

ユーザーガイド

はじめに

Seventy-Two をご購入いただきありがとうございます。Rane DJ は、あなたにとって音楽がどれだけ大切なものであるかを知っています。私たちは、あなたのパフォーマンスを最高にすることを、唯一念頭に置いて本製品を設計しました。

同梱物

Seventy-Two 本体
電力ケーブル
Serato NoiseMap™コントロール・バイナルレコード×2
Serato NoiseMap™コントロール CD×2
Serato Pitch 'n Time ダウンロード・カード（シリアル番号付き）
USB ケーブル×2
Rane ステッカー
ユーザーガイド / 保証書

サポート

この製品に関する最新情報（ドキュメンテーション、技術仕様、システム要件、互換性情報など）および製品登録については、rane-dj.jp/seventytwo/をご覧ください。
その他の製品サポートについては、rane-dj.jp/support/をご覧ください。

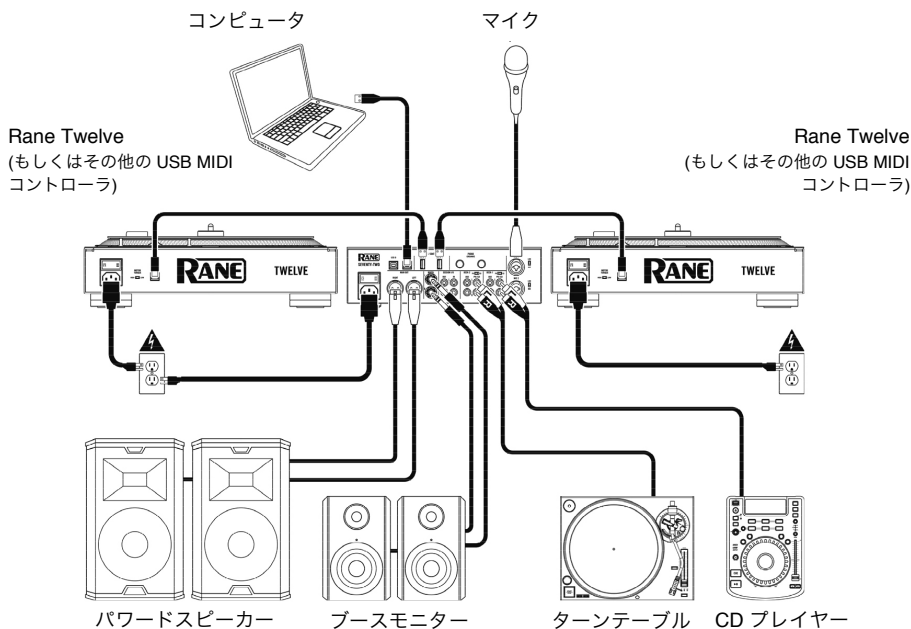
セットアップ

イントロダクション>同梱物に掲載されていない項目は別売となります。

1. dj.rane.com にアクセスし、アカウントにログインします。（初めての Rane 製品の場合は、アカウントを作成します。）アカウントで、Seventy-Two を登録し、Rane Control Panel をダウンロードします。

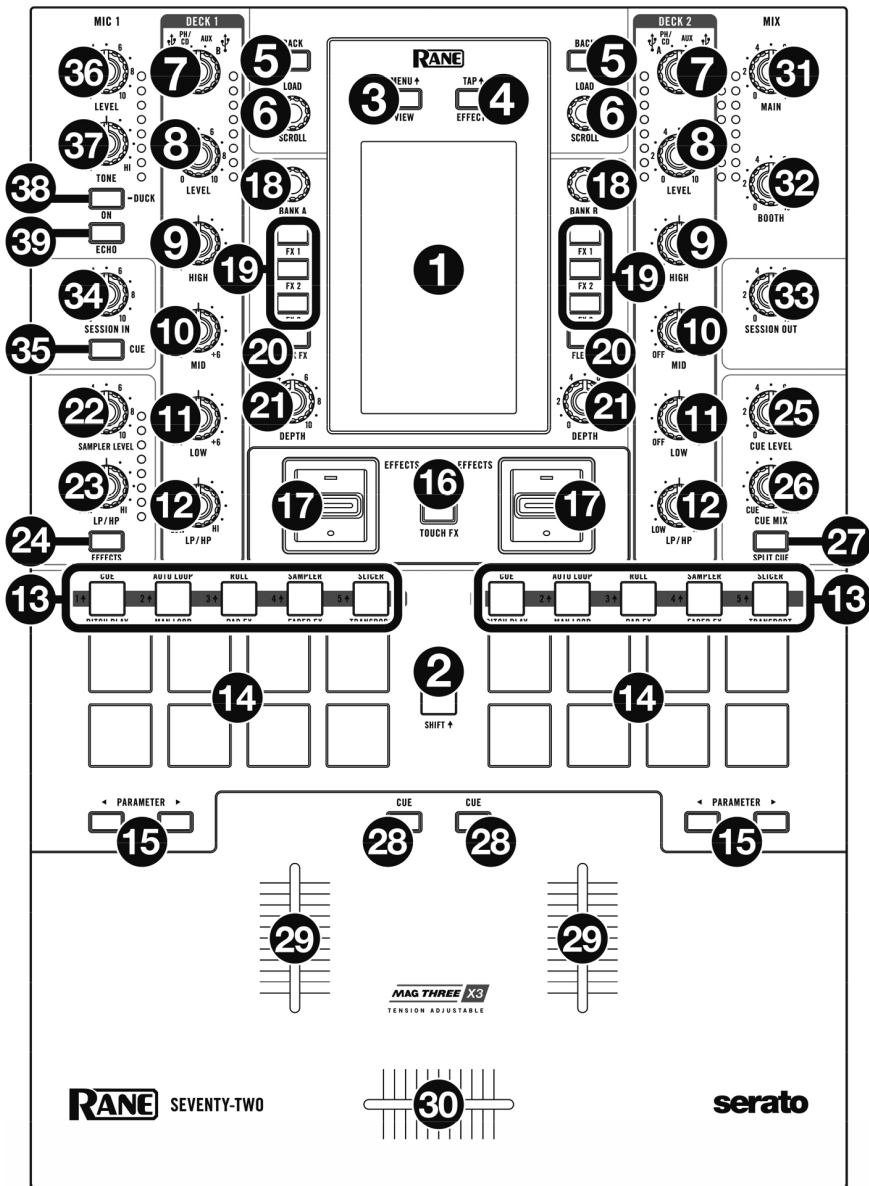
Windows ユーザーのみ：Rane コントロールパネルには、Windows に必要なドライバが含まれています。

2. **重要：**パフォーマンス向上のため Seventy-Two のファームウェアがアップデートされることがあります。特に、ソフトウェアを更新した後（ファームウェアの更新では新しいソフトウェアの機能に対応することができます）は、dj.rane.com にアクセスして、使用可能なファームウェアの更新を確認してください。
3. serato.com から Serato DJ Pro の最新バージョンをダウンロードしてインストールします。
4. USB ケーブルを使用して、Rane Twelve（使用している場合）または他の USB MIDI コントローラーの USB ポートを Seventy-Two の **Twelve / Controller USB** ポートに接続します。
5. オーディオ入力ソース（マイク、ターンテーブルなど）を Seventy-Two に接続します。
6. オーディオ出力デバイス（ヘッドフォン、パワーアンプ、スピーカーなど）を Seventy-Two に接続します。
7. すべてのデバイスを電源コンセントに接続し、適切な順序でデバイスの電源をオンにします。
 - セッションを開始するときは、（1）入力ソース、（2）Seventy-Two、（3）出力デバイスをオンにします。
 - セッションを終了するときは、（1）出力デバイス、（2）Seventy-Two、（3）入力ソースをオフにします。
8. USB ケーブルを使用して、Seventy-Two の USB ポートをコンピュータに接続します。Serato DJ Pro を開いて開始してください。Serato DJ Pro を Seventy-Two で使用する詳細な方法については、support.serato.com にアクセスし、**Rane Seventy-Two** を選択してください。



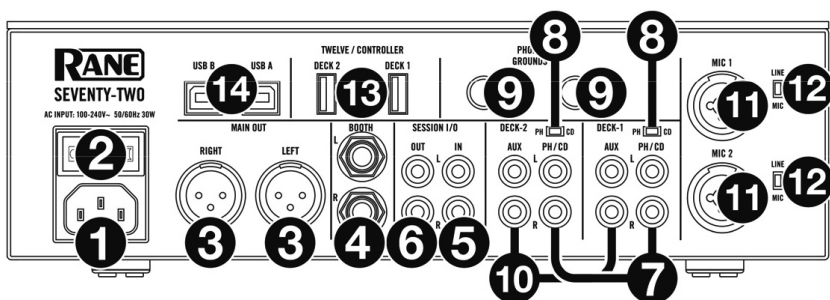
特徴

トップパネル



1. **タッチスクリーン**: このフルカラーのマルチタッチ・ディスプレイは、Seventy-Two の現在の操作に関連する情報を表示します。ディスプレイをタッチし、ハードウェア・コントロールを使用してインターフェイスを制御します。詳細については、[オペレーション>タッチスクリーン](#)を参照してください。
2. **Shift**: このボタンを押し続けると、Seventy-Two の他の 2 次機能にアクセスできます。
3. **View/Menu**: タッチスクリーンの表示をライブラリビューと波形ビュー間で切り替えることができます。詳細については、[オペレーション>タッチスクリーン](#)を参照してください。**Shift** を押しながらこのボタンを押すか、またはこのボタンを 4 秒間押し続けると、Seventy-Two のメインメニューが表示されます。
4. **Effects/Tap**: すぐにエフェクトビューが表示されます。**Shift** を押しながら希望のテンポでこのボタンを何回か押し、チャンネルごとのビート・テンポ・エフェクトの BPM レートが手動で設定されます。
5. **Back**: 前の画面が表示されます。ライブラリビューで、このボタンを押すと、ライブラリの最上位の階層に戻ることができます。
6. **Load/Scroll**: このノブを回してリストをブラウズし、ノブを押すと選択中のトラックがデッキにロードされます。波形ビューでこのノブをタッチすると、タッチスクリーンの表示がライブラリビューに切り替わります。
ヒント: このノブをすばやく 2 回押し、もう一方のデッキに同じトラックがロードされます ("インスタント・ダブルス")。
7. **Deck Source**: このノブで、各チャンネルのオーディオソースを設定します: **USB A** または **B** (ソフトウェアのレイヤーで再生されるトラック)、**PH / CD** (リアパネルの**デッキ PH / CD In** に接続されたデバイス)、または **Aux** (リアパネルの**デッキ Aux In** に接続されたデバイス) に設定します。
注: **PH / CD** を選択した場合は、リアパネルの **PH / CD** セレクタースイッチを正しく設定してください。
注: デッキのコントロールは、デッキソースセレクターが **USB A** または **B** に設定されている場合にのみ、MIDI 情報を送信します。
8. **Deck Level**: 対応するチャンネルのプリフェーダー、プリ EQ オーディオレベルを設定します。このノブの横にあるメーターは、信号の音量レベルを示します (メーターが赤い部分に到達し「クリッピング」したら音量を下げてください)。
9. **Deck EQ High**: 高域の周波数を調整します。
注: すべての EQ とフィルターコントロールは完全にカットされます。
10. **Deck EQ Mid**: 中域の周波数を調整します。
11. **Deck EQ Low**: 低域の周波数を調整します。
12. **Deck LP/HP**: デッキに適用されているフィルターを調整します。ノブを反時計回りに回すとローパスフィルターの効果が得られます。ノブを時計回りに回すとハイパスフィルターの効果が得られます。フィルターを無効にするには、フィルターを 12 時 (中央) の位置に設定します。
13. **Pad Mode Buttons**: これらのボタンの 1 つを押すと、対応するパッド・モードにアクセスします。1 回押しと 1 次 (ボタン上部にプリントされた機能名称) 機能にアクセスし、もう一度押しと 2 次 (ボタン下部にプリントされた機能名称) 機能にアクセスします。**Shift** とこれらのボタンの 1 つを押して、カスタム・パッドモードにアクセスします。各モードでパッドを使用する方法については、[オペレーション>パッドモード](#)を参照してください。
14. **Performance Pads**: これらのパッドは、選択されているパッドモードに応じて各デッキで異なる機能を持ちます。**パッドモード・ボタン**を使ってパッドモードを選択します。これらのパッドは、ベロシティ・センシティブで (特定のモードのみ)、耐久性があり、簡単に演奏できます。各モードでパッドを使用する方法については、[オペレーション>パッドモード](#)を参照してください。
15. **Parameter** ◀▶: 各パッドモードでさまざまな機能に使用します。**Shift** を長押ししながらこれらのボタンを使用して、セカンダリ・パラメータにアクセスします。
16. **Touch FX**: タッチスクリーン上の X-Y タッチパッド機能を有効または無効にします。この機能を使用して、さまざまなエフェクト・パラメータをコントロールできます。詳細については、[オペレーション>エフェクト](#)を参照してください。

17. **エフェクト・トグル**: このトグル・スイッチを奥に倒すと、ソフトウェア・エフェクトと Seventy-Two のフレックス・エフェクトが有効になります。トグルはその位置に固定されず。エフェクトを無効にするには、トグルを中央の位置に戻します。トグルを手前に引くとソフトウェア・エフェクトと Seventy-Two のエフェクトが一時的に有効になり、トグルを放して中央の位置に戻すとエフェクトは無効になります。
注: エフェクト・トグル・スイッチは、取り外し可能です。好みに応じて 180 度回転させた状態で、設置することができます。
18. **Parameter Knob**: さまざまなエフェクト・パラメーターを調整します。選択中のパラメーターは、タッチスクリーン上に白枠で表示されます。
19. **FX 1-3**: 3つのエフェクト・バンクにアサインされたソフトウェア・エフェクトを有効または無効にします。
20. **Flex FX**: Seventy-Two の内蔵エフェクトを有効または無効にします。
21. **Depth**: 適応するデッキの Flex FX の "ウェット/ドライ"の割合を調整します。
22. **Sampler Level**: ソフトウェア・サンプラーの音量を調整します。
23. **Sampler LP/HP**: ソフトウェア・サンプラーに適用されているフィルターを調整します。ノブを反時計回りに回すとローパスフィルターの効果が得られます。ノブを時計回りに回すとハイパスフィルターの効果が得られます。フィルターを無効にするには、フィルターを 12 時 (中央) の位置に設定します。
24. **Sampler Effects**: ソフトウェア・サンプラーのエフェクトを有効または無効にします。
注: サンプラーは、エフェクト・ルーティングメニューで選択する必要があります。詳細は、**エフェクト**を参照してください。
25. **Cue Level**: キューチャンネルの音量を調節します。
26. **Cue Mix**: キューチャンネルとプログラム・ミックスを**ヘッドフォン出力**にミックスします。左に回すとキューチャンネルだけが聞こえ、右に回すとプログラム・ミックスだけが聞こえます。
27. **Split Cue**: このボタンが**オン**の場合 (点灯中)、キューチャンネルがモノラルに変換され、ヘッドフォンの左チャンネルに送られます。同様にプログラム・ミックスもモノラルに変換されてヘッドフォンの右チャンネルに送られ、ヘッドフォンの出力がスプリットされます。**オフ**の場合は、キューチャンネルとプログラム・ミックスがブレンドされた状態で、左右のヘッドフォンから出力されます。どちらの場合も、Cue Mix ノブを使って 2 つの信号の割合を調整します。
28. **Deck Cue**: 各デッキをモニタリングするため、プリフェーダー信号をキューチャンネルに送ります。Deck Cue が**オン**の状態では、ボタンが点灯します。ふたつのチャンネルを同時にキューイングする場合は、両方のデッキのキューボタンを押します。
29. **Channel Fader**: 対応するデッキの音量を調節します。
30. **Crossfader**: このフェーダーを動かしてデッキ間の音量レベルを調整します。
31. **Main**: **メインアウト**の音量を調節します。このノブの隣にあるメーターは、信号の音量レベルを示します (メーターが**赤い**部分に達し「クリップ」したら音量を下げてください)。
32. **Booth**: **ブースアウト**の音量を調整します。
33. **Session Out**: **セッションアウト**の音量を調節します。
34. **Session In**: **セッションイン**の入力レベルを調整します。
35. **Session In Cue**: モニタリングのために**セッションイン**からキューチャンネルに信号が送信されます。Session In Cue が**オン**の状態では、ボタンが点灯します。
36. **Mic 1 Level**: **マイク 1 入力**のゲインを調整します。このノブの横にあるメーターは、信号の音量レベルを示します (メーターが**赤い**部分に達し「クリップ」したら音量を下げてください)。
37. **Mic 1 Tone**: **マイク 1 入力**からのオーディオ信号の低音 (低域) と高音 (高域) のバランスを調整します。
38. **Mic 1 On/Duck**: リアパネルのマイク 1 入力を有効または無効にするには、このボタンを押します。このボタンを 2 秒間押し続けると、他のすべての入力レベルが 10 dB 低下します。この機能が有効な場合にボタンが点滅します。このボタンをもう一度押すと、この機能と **Mic 1 入力**が無効になります。
39. **Mic 1 Echo**: このボタンを押して、**マイク 1 入力**信号に対するエコーエフェクトの有効または無効を設定します。フロントパネルの **Mic 1 Echo** ノブを回して、エフェクトの量を調整します。



1. **電源入力**：電源が切られている状態で、付属の電源ケーブルをこの入力に接続し、次に電源コンセントに接続します。
2. **電源スイッチ**：Seventy-Twoの電源をオンまたはオフにします。すべての入力デバイスを接続した後、アンプとスピーカーの電源を**入れる前に**、Seventy-Twoの電源を入れてください。Seventy-Twoの電源を**切る前に**、アンプとスピーカーの電源を切ってください。
3. **Main Out (XLR)**：ラウドスピーカーまたはアンプ・システムに接続します。トップパネルの**Master** ノブで音量を調節します。
4. **Booth Out (1/4 インチ TRS)**：ブースモニターまたはブースのアンプ・システムに接続します。トップパネルの**Booth** ノブで音量を調節します。
5. **Session In (RCA)**：別のミキサー、CD プレーヤー、ドラムマシンなどのラインレベルのデバイスからの出力を接続します。信号は直接プログラム・ミックスに送られます。トップパネルの**Session In** ノブで入力レベルを調節します。
6. **Session Out (RCA)**：別のミキサー、レコーディング・デバイスなどに接続します。プログラム・ミックスはこの出力に送られます。トップパネルの**Session Out** ノブで音量を調節します。
7. **Deck PH / CD In (RCA)**：ターンテーブル、CD プレーヤー、その他のラインレベルのデバイスに接続します。対応する **PH / CD** セレクターを適切な位置に設定し、そのデッキの **deck source** ノブを **PH / CD** に設定してから、オーディオ信号を再生してください。
8. **PH / CD セレクター**：対応するデッキの **PH / CD** に接続されているデバイスに応じて、このスイッチを適切な位置に設定します。フォノレベルのターンテーブルを使用している場合は、フォノレベル信号に必要なアンプの増幅を行う必要があるため、このスイッチを **PH** に設定してください。ラインレベルのターンテーブル、CD プレーヤー、サンプラーなどのラインレベルのデバイスを使用している場合は、このスイッチを **CD** に設定します。
9. **Phono Grounds**：アース線付きのフォノレベルのターンテーブルを使用している場合は、アース線をこの端子に接続します。「ハム」や「バズ」が発生する場合は、アースが接地されていない可能性があります。
注：一部のターンテーブルでは **RCA** 接続にアース線が組み込まれているため、グランド端子への接続が必要ない場合もあります。
10. **Deck Aux In (RCA)**：外部のラインレベルのオーディオソースを接続します。使用するデッキの **Deck Source** ノブを **Aux** に設定すると、Deck Aux In に入力されたオーディオ信号を再生できます。
11. **マイク入力 1-2 (XLR / 1/4 インチ TS)**：マイクまたはラインレベルのデバイスをこのモノラル入力に接続します。モノラル・オーディオ信号は分割され、ステレオ・プログラム・ミックスとキューチャンネルに直接ルーティングされます。ステレオ・ライン入力を行いたい場合は、**Session In** を使用してください。
12. **ライン/マイクセレクター**：マイク入力 1-2 に接続されているデバイスに応じて、このスイッチを適切な位置に設定します。マイクを使用している場合は、このスイッチを **Mic** に設定しま

す。キーボードやサンプラーなどのラインレベルのデバイスを使用している場合は、このスイッチを **Line** に設定します。

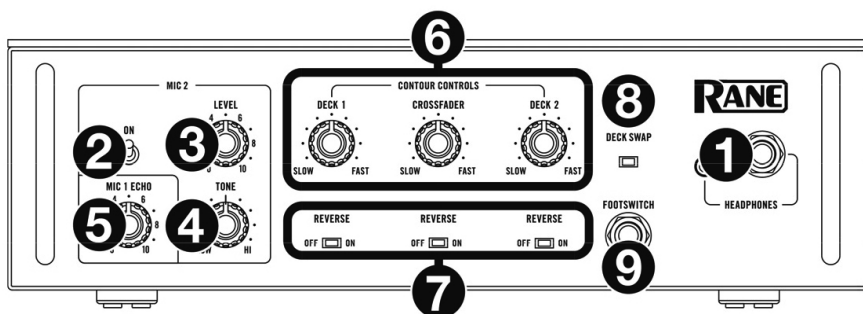
13. **Twelve / Controller USB ポート (USB Type-A)** : USB ケーブルを使用して、Twelve や一般的な USB MIDI コントローラーなどに接続します。

重要 : USB ドライブをこれらのポートに接続しないでください。デッキソースノブを切り替えると、接続されたコンピュータからドライブが強制的に取り外されます。これにより USB ドライブ上の内容が損傷する可能性がありますので、おやめください。

14. **USB ポート (USB Type-B)** : USB ケーブルを使用して、コンピュータの使用可能な USB ポートに接続します。これらの接続は、コンピュータとの間でオーディオおよび MIDI 制御情報を送受信します。

注 : Rane Control Panel を dj.rane.com からダウンロードして、インストールしたことを確認してください。

フロントパネル



- ヘッドフォン出力 (1/4 インチ、1/8 インチ / 6.35 mm、3.5 mm、TRS) : キューイングおよびミックス・モニタリングのために、ヘッドフォンを接続してください。
- Mic 2 On** : オンに設定すると、リアパネルの**マイク 2 入力**が有効になり、マイク 2 に入力されたオーディオ信号がプログラム・ミックスとキューミックスに直接ルーティングされます。オフに設定すると、**マイク 2 入力**は無効になります。
- Mic 2 Level** : **マイク 2 入力**のゲインを調整します。
- Mic 2 Tone** : **マイク 2 に入力されたオーディオ信号**の低音 (低域) と高音 (高域) のバランスを調整します。
- Mic 1 Echo** : **Mic 1 に入力された信号**に対するエコーエフェクトの量を調整します。トップパネルの **Mic 1 エコー** ボタンを押して、このエフェクトを有効または無効にします。
- Contour Controls** : クロスフェーダーカーブのスロープを調整します。ノブを左に回すと滑らかなフェード (ミキシング向け)、右に回すと鋭くカット (スクラッチ向け) されます。センターの位置が、クラブパフォーマンスの典型的な設定です。
- Fader Reverse** : このスイッチを **On** に設定すると、対応するフェーダーの方向 (「極性」) を反転します。標準のフェーダー極性を使用するには、**Off** に設定します。
- Deck Swap** : このスイッチを **On** に設定すると、Seventy-Two チャンネルの左右の**チャンネルフェーダー**を切り替えることができます。従来のデッキ構成を使用するには、**Off** に設定します。
- フットスイッチ入力** (1/4 インチ TRS) : フットスイッチを接続して、エフェクトを有効または無効にすることができます。この機能を他のファンクションに割り当てることもできます。この入力にはパッシブ・コンタクト・クロージャを備えた 3 スwitch・フットスイッチをサポートしています。

オペレーション

タッチスクリーン

波形表示とライブラリ表示を切り替えるには、**View/Menu** ボタンを押します。

波形ビュー

波形ビューでは、トラック波形が垂直に表示され、チャンネル 1 は左側に、チャンネル 2 は右側に表示されます。大きな波形は、現在のトラックのセクションを表します。小さな波形は現在のトラック全体を表します。

1. **時間**：現在のトラックの残り時間を表示します。
2. **キー/キーロック**：**Shift** キーを押しながらこのアイコンをタップすると、キーとキーロックの表示が切り替わります。キーを選択すると、現在のトラックのキーが表示され、タップするとキーの同期を有効または無効にできます。キーロックを選択すると、キーロック・アイコン（または Serato Pitch'n Time アイコン。インストールされている場合）が表示され、タップするとキーロックが有効または無効になります。いずれかのオプションが有効になっていると、フィールドがハイライトされます。
3. **概要**：小さい波形は、現在のトラック全体の概要を表します。再生中に指で "スクラブ" することができます。
4. **ソング・ポジション**：現在のトラックの再生ヘッドポジションです。
5. **ホットキュー**：ホットキューをカラーで表示します。
6. **Sync**：Sync を有効にすると、フィールドが強調表示され、BPM インジケータが青色になります。同期を有効または無効にするには、いずれかのチャンネルのアイコンをタップします。
7. **BPM**：現在のトラックの BPM を表示します。

注：Waveform View で **Load / Scroll** ノブをタッチすると、ライブラリビューが素早く表示されます。

ライブラリビュー

ライブラリビューには、接続されたコンピュータの Serato ライブラリが表示されます。Seventy-Two が 2 台のコンピュータに接続されている場合、それぞれのデッキには最後に割り当てられたコンピュータが表示されます。

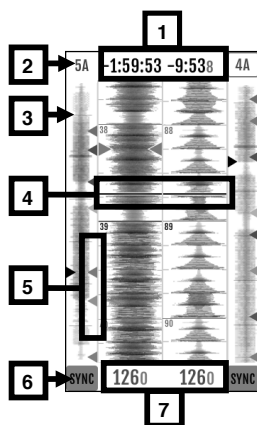
表示モードを変更するには、トラックリストビューの上部にあるプルダウン・メニューアイコンを下にスワイプし、目的のモード（簡易表示または拡張表示）のアイコンをタップします。

トラックをブラウズするには、**Load / Scroll** ノブを回します。

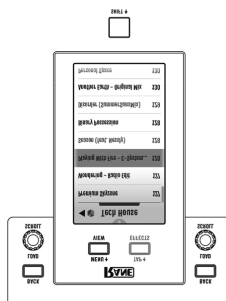
すばやくスクロールするには、**Shift** キーを押しながら **Load / Scroll** ノブを回します。

クレートを開く、またはトラックをデッキにロードするには、**Load / Scroll** ノブを押します。

階層に戻すには、Back を押すか、タッチスクリーンの左上の領域にある戻る矢印を押します。



シンプルなライブラリ表示
付きタッチスクリーン



メインメニュー

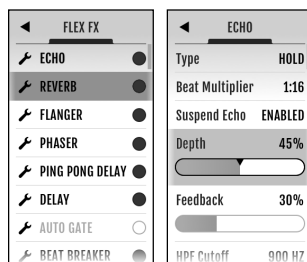
メインメニューにアクセスするには、**Shift + View / Menu** を押すか、**View / Menu** を 4 秒間押し続けます。メインメニューには次のオプションがあります。

ミキサー設定：以下の設定を編集するには、このオプションを選択します。

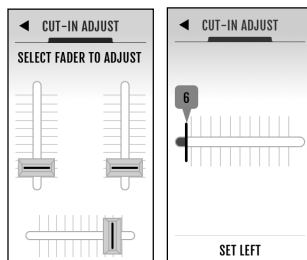
- **オーディオアウト**：メインアウト、マイク 1 クリーンフィード、およびデッキ・バランス設定を編集するには、このオプションを選択します。
注：Clean Feed がオンの状態で Serato DJ Pro に録音する場合、Mic 1 はオーディオを通過しません。
- **Deck Inputs**：Phono 1/2 Sensitivity と Tone XOver 1/2 の設定を編集します。
注：カートリッジの製造元が推奨する設定にフォノ感度を設定してください。
- **Filter Setup**：デッキ 1/2 レゾナンスとサンプラーレゾナンスの設定を編集します。
- **Pad Setup**：パッドの感度設定を編集します。
- **Headphone Setup**：ヘッドフォン・トーンの設定を編集します。

Flex FX：内部 Flex FX 設定を表示および編集するには、このオプションを選択します。

- お気に入りのリストからエフェクトを追加または削除するには、ディスプレイの右側にある円をタップします。円が緑色の場合、エフェクトはエフェクトビューの Flex FX のリストに含まれます。円とエフェクト名がグレー表示の場合、そのエフェクトはリストに表示されません。
- 内部 Flex FX のデフォルト設定を調整するには、レンチ・アイコンをタップします。変更が加えられると、ミキサーに保存されます。



カットイン調整：カットイン調整セットアップ・メニューにアクセスするには、このオプションを選択します。これは、フェーダーの閉じた位置と開いた位置の間のデッドスペースの量を制御します。調整したいフェーダーを選択し、選択したフェーダーを目的の位置に移動し、**Set** を押して設定を保存します。



フットスイッチ：フットスイッチ 1/2/3 の割り当てを設定するには、このオプションを選択します。

ディスプレイ：ディスプレイの明るさを調整するには、このオプションを選択します

エフェクト

エフェクトの各バンクには最大3つのソフトウェア・エフェクトと内部 Flex FX が含まれており、デッキ1、デッキ2、およびサンプラーに追加してルーティングできる合計8つのエフェクトがあります。デフォルトでは、エフェクトはデッキ1とデッキ2にルーティングされています。

エフェクト・ルーティングを変更する：

1. ディスプレイの上部にある青色の **1/2/S** アイコンをタップして、Routing メニューに入ります。
2. エフェクトをルーティングする場所を選択し、**OK** を押すと前のページに戻ります。両方のバンクのエフェクトを同じデッキにルーティングすることができます。

エフェクトを追加および使用する：

1. **Effects** ボタンを押し、Effects View に入ります。
2. タッチスクリーンをタップして目的のエフェクトを選択し、**Parameter ノブ** を押して FX セレクトモードに切り替えます。
3. **Parameter ノブ** を回してエフェクトのリストを表示し、ノブを押してエフェクトを適用するスロットにロードします。
4. **FX 1-3** または **Flex FX** ボタンを押して、チェーン内のエフェクトを有効にします。エフェクトはチェーン内で順番に適用されます (**FX1 > FX2 > FX3 > Flex FX**)。
5. **エフェクト・トグル** を使用して、デッキ1と2にエフェクトを適用します。**トグル** を奥側に倒してエフェクトをホールドするか、トグルを手前に引いて、一時的にエフェクトをトリガーします。
サンプラーエフェクト・ボタンを押して、サンプラーにエフェクトを適用します。

ソフトウェアエフェクトを編集する：

1. ディスプレイ上のエフェクトをタップします。
2. **Parameter ノブ** を回して、選択したパラメーターの編集を開始します。**Parameter ノブ** を押すと、フォーカスしているエフェクトのソフトウェア FX セレクト・モードに切り替わります。
3. エフェクト・タイミングを編集するには、タイミングをタップして **Parameter ノブ** を回します。

注：時間調整はバンクごとに行われます。

内部 Flex FX を編集する：

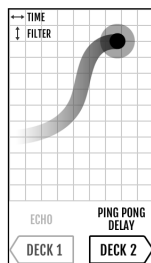
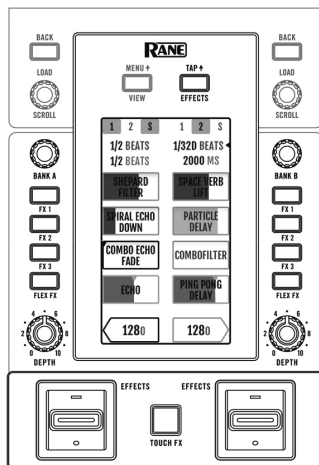
1. タップして **パラメーターノブ** のフォーカスを目的のエフェクトに合わせます。目的のエフェクトをダブルタップして、**パラメーターノブ** でデフォルトの Flex FX 設定を調整します。変更が加えられると、ミキサーに保存されます。

タッチ FX

Touch FX ボタンを押して X/Y ディスプレイを開きます。

Touch FX を適用するデッキを選択するには、それぞれのデッキの矢印をタップします。いずれかのバンクからそのデッキにルーティングされたアクティブ・エフェクトが強調表示されます。

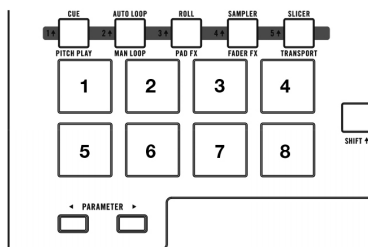
Touch FX を適用するには、ディスプレイ上で指をスライドさせます。Y 軸をスライドさせると、ハイパス (上) またはローパス (下) **フィルター** が適用されます。X 軸を左から右にスライドさせると、アクティブな内部 Flex FX の **Time** パラメーターが増加します。



パッドモード

この章では、さまざまなパッドモードについて説明します。各デッキには複数のモードからひとつのモードを選択して使用できる8つのパッドが装備されています。**Pad Mode** ボタンの1つを押すと、そのデッキに対応するパッドモードにアクセスします。各パッドモード・ボタンは、押すごとに2つのモードを交互に切り替えることができます。

ヒント：各パッドモードで、**Shift** キーと **Pad Mode** ボタンのいずれかを押して、追加のモードにアクセスしたり、カスタムモードを使用することができます。



CUE

キューモードでは、各パッドでホットキューポイントを割り当てたり、設定したホットキューポイントに戻ったりできます。

キューモードにアクセスするには、**Cue / Pitch Play** を押して白色に点灯させます。

ホットキューポイントを割り当てるには、トラックの任意の位置で消灯しているパッドを押します。

ホットキューが割り当てられている場合に、パッドが点灯します（対応する色がある場合）。

ホットキューポイントにジャンプするには、点灯しているパッドを押します。

割り当てられたホットキューポイントを削除するには、**Shift** キーと対応するパッドを押します。

PITCHPLAY

ピッチプレイ・モードを使用すると、各パッドはホットキューポイントから異なる音程でトラックを再生します（半音単位で調整可能）。このモードを使用するには、Serato Pitch 'n Time DJ Expansion Pack をインストールする必要があります。ホットキューポイントの割り当て方法については、**キューモード**を参照してください。

注：シリアルナンバーの付いた Serato Pitch 'n Time のダウンロードカードは、Seventy-Two に付属しています。

ピッチプレイモードにアクセスするには、**Cue / Pitch Play** を押して緑色に点灯させます。

使用するホットキューポイントを選択するには、**Shift** キーを押しながら薄暗いパッドを押します。パッドが使用するトランスポーズの範囲を選択するには、**Parameter** ◀▶ ボタンを使用します（図を参照）。

現在のトラックのキーを上下に調整するには、**Shift** キーを押しながら **Parameter** ◀▶ ボタンを押します。

ホットキューポイントからトラックを再生するには、点灯しているパッドを押します。各パッドは、現在のトランスポーズの範囲に応じて、特定のトランスポーズ（半音単位）に対応しています（図を参照）。

移調されていないパッド（元のピッチ）は白く点灯します。

上

+4 semitones	+5 semitones	+6 semitones	+7 semitones
0 (original pitch)	+1 semitone	+2 semitones	+3 semitones

中

0 (original pitch)	+1 semitone	+2 semitones	+3 semitones
-4 semitones	-3 semitones	-2 semitones	-1 semitone

下

-3 semitones	-2 semitones	-1 semitone	0 (original pitch)
-7 semitones	-6 semitones	-5 semitones	-4 semitones

AUTOCOOP

オートループ・モードでは、各パッドが異なる長さのオートループをトリガーまたはリリースします。ソフトウェアのループ・グリッドによってループのサイズが決まります。

オートループ・モードにアクセスするには、**Auto Loop / Man Loop** を押して、**ダークブルー**に点灯させます。

オートループの8つの長さが表示されるように（ソフトウェア内で）、**Parameter** ◀▶ ボタンのいずれかを押します。それに合わせてパッドのレイアウトがシフトします。

オートループを前後に動かすには、**Shift** キーと **Parameter** ◀▶ ボタンを押します。

MANLOOP

手動にあらかじめ作成したループを再生します。2つのバンクのパッドレイアウトは同じです。

手動ループモードにアクセスするには、**Auto Loop / Man Loop** を押して**黄色**に点灯させます。

ループを作成するには、**パッド 5** を押してループイン・ポイントを設定し、**パッド 6** を押してループアウト・ポイントを設定し、ループをアクティブにします。

1 Loop 1	2 Loop 2	3 Loop 3	4 Loop 4
5 Set Loop In	6 Set Loop Out	7 Loop On/Off	8 Reloop

ループを保存するには、ループが有効な状態で、上段（**パッド 1~4**）の点灯していないパッドを押します。ループの作成方法（オートループ・モード、手動ループ・モードなど）に関係なく、同じように操作できます。

保存したループを有効または無効にする場合は、上段（**パッド 1~4**）の点灯しているパッドを押します。

保存したループを削除するには、**Shift** キーを押し、上段（**パッド 1~4**）の点灯しているパッドを押します。

最後に起動したループを有効または無効にするには、**パッド 7** を押します。

最後に起動したループ（"reloop"）をすぐに再起動するには、**パッド 8** を押します。

ループの長さを半分または2倍にするには、**Parameter** ◀▶ ボタンを押します。

ループを前後に移動するには、**Shift** キーと **Parameter** ◀▶ ボタンを押します。

保存されたループ

Shift キーを押しながら **Auto Loop / Man Loop (2)** を押して、保存ループにアクセスします。このモードでは、保存されたループを有効または無効にするために8つのパッドがすべて使用されます。

ROLL

ロールモードでは、各パッドが一時的なループロールをトリガーします。パッドを離すとループロールが停止し、トラックが通常通り再生されていたかのように、スムーズに再生が再開されます。

注：Serato DJ Pro **Setup** メニューで **Show Beat Jump Controls** が無効になっていることを確認してください。また、ソフトウェアでループのサイズを表示および編集することもできます。

ロールモードに入るには、**Roll / Pad FX** を押して**水色**に点灯させます。

ループロールをトリガーするには、パッドを押し続けます。

ループロールの8つの長さを表示するには（ソフトウェア上で）、**Parameter** ◀▶ ボタンのいずれかを押します。操作に合わせてパッドのレイアウトがシフトします。

ループロールを前後にシフトさせるには、それぞれ **Shift** と **Parameter** ◀▶ ボタンを押します。

PAD FX

パッド FX モードでは、パッドを使ってエフェクトをコントロールできます。パッドの上段はエフェクトのタイプを選択し、下段はエフェクトの長さをトリガーしてコントロールします。

パッド FX モードにアクセスするには、Roll / Pad FX を押して黄色に点灯させます。

Vinyl Brake エフェクトを選択するには、パッド 1 を押します。 Vinyl Brake エフェクトが下段のパッドでトリガーされると、ターンテーブルが停止したように音が遅くなり、選択した長さで消音します。

バックスピン・エフェクトを選択するには、パッド 2 を押します。 バックスピン・エフェクトが下段のパッドでトリガーされると、オーディオは逆方向に再生され、ターンテーブルが逆回転したようにスピードアップし、選択した長さで消音します。

ゲートエフェクトを選択するには、パッド 3 を押します。 ゲートエフェクトが下段のパッドでトリガーされると、選択した長さでオーディオに適用されます。

エコーエフェクトを選択するには、パッド 4 を押します。 エコーエフェクトが下段のパッドでトリガーされると、選択したサイズに基づいてエコーされます。

注：エコーエフェクトは他のエフェクトと組み合わせることができます。その他のエフェクトはすべて単体でのみ使用可能です。

選択したエフェクトをトリガーするには、パッド 5-8 のいずれかを押します。 各パッドは、パッド 5（最短時間）からパッド 8（最長時間）まで増加して、設定されたサイズで即座にエフェクトをアクティブにします。エフェクトがトリガーされると、選択したパッドが点滅します。

注：新しいパッドモードを選択すると、デッキ上の現在有効なパッド FX がすべて無効になります。

1 Vinyl Brake	2 Backspin	3 Gate	4 Echo
5 Size 1	6 Size 2	7 Size 3	8 Size 4

SAMPLER

サンプラーモードでは、ソフトウェアのサンプラーをパッドでコントロールできます。各パッドは、指定された音量でサンプルをトリガーします（ソフトウェアでサンプルとその音量を割り当てることができます）。

サンプラーモードに入るには、Sampler / Fader FX を押して紫色に点灯させます。

サンプルとそのボリュームを割り当てるには、ソフトウェアを使用します。 サンプルの使用方法に関する詳細は、Serato DJ Pro のマニュアルを参照してください。

サンプルを演奏するには、点灯しているパッドを押します。 サンプルが演奏されるとパッドが点滅します。

サンプルの再生を停止するには、再生中に Shift+ とパッドを押します。

サンプル・バンクを移動する場合は、Parameter ◀▶ ボタンを押します。

サンプラーのアウトプットを変更する場合は、Shift+ と Parameter ◀▶ ボタンを押します。

フェーダーFX

フェーダーFX モードでは、パッドを使って、スクラッチを行う際のクロスフェーダーの動きをエミュレートすることができます。これによりオーディオ信号を、ミュートまたはミュート解除しながら再生することができます。

1 1-Click Flare	2 2-Click Flare	3 3-Click Flare	4 4-Click Flare
5 Trans- formers	6 2-to-1 Alternator Baby	7 Tri-forms	8 Uzi

「クリック」は、クロスフェーダーの「上げる」と「下げる」の動作を行います。DJはさまざまなリズムパターンでクリックを用いて（多くの場合、スクラッチと組み合わせると）、多彩なエフェクトを作成します。

注：フェーダーFXは、現在のトラックのBPMに基づきます。スクラッチ用のサウンドファイルではBPMが正確に表示されない場合がありますので、その際はBPMを手動で設定してください。

フェーダーFXモードにアクセスするには、Sampler / Fader FX を押して、緑色に点灯させてください。

フェーダーFXをトリガーするには、パッド1~8のいずれかを押します。

エフェクトを逆にするには、Shift+ を押しながらパッド1~8のいずれかを押します。

フリップ

Serato Flip Expansion Pack のユーザーは、Shift+ を押しながら **Sampler / Fader FX (4)** を押すと、Flip コントロールにアクセスできます。Flip Expansion Pack を使用していない場合は、カスタムパッドモードを利用できます。

このモードでは、消灯しているパッドにはフリップが割り当てられていません。点灯しているパッドにはフリップが割り当てられていますが、演奏されていません。点滅するパッドは、フリップが割り当てられ、現在再生中であることを意味します。

フリップをパッドに割り当てるには、パッド8を押したままパッド1、2、3、5、6または7を押します。

割り当てられたフリップを再生するには、パッド1、2、3、5、6または7（フリップが割り当てられている場合）を押します。

フリップの再生を直ちに停止するには、Shift+ を押しながら対応するパッドを押します。

フリップの長さをビートグリッド（ループスナップ）に合わせて自動的に「スナップ」するには、パッド4を押したまま、フリップが割り当てられているパッドを押します。

重要：ループスナップ機能を使用するには、トラックにビートグリッドが設定されている必要があります。

Flip 1	Flip 2	Flip 3	Loop Snap
Flip 4	Flip 5	Flip 6	Assign Flip

SLICER

重要：このモードを使用するには、トラックにビートグリッドが設定されている必要があります。

スライサーモードでは、デッキにロードしたトラックの指定した範囲を8分割して、パッドで演奏できます。青色に点灯するパッドが、現在再生中のスライスで、対応するパッドを叩くことでスライスが再生されます。パッドを離すと、トラックが通常通り再生されていたかのように、スムーズに再生が再開されます。

Slice 1	Slice 2	Slice 3	Slice 4
Slice 5	Slice 6	Slice 7	Slice 8

スライサーモードにアクセスするには、Slicer / Transport を押して赤色に点灯させます。デッキに別のトラックをロードするか、グリッド編集モードを有効にすると、スライサーモードが終了します。

スライスのサイズを増減する場合は、Parameter ◀▶ ボタンを押します。

再生ヘッドを前後に移動する場合は、Shift+ と Parameter ◀▶ ボタンを押します。

トランスポート

トランスポート・コントロールモードでは、パッドはさまざまなトランスポート・コントロールに対応します。このモードにアクセスすると、ソフトウェアは自動的にインターナルモードに切り替わります（Seventy-Two で Twelve コントローラを使用している場合は、ソフトウェアは常にインターナルモードになります）。

Pitch Bend -	Pitch Bend +	Pitch Fader -	Pitch Fader +
Keylock INT/REL	Sync	Cue	▶

トランスポートモードにアクセスするには、**Slicer / Transport** を押してグリーンに点灯させます。

一時的にピッチを下げる場合は、パッド 1 を押します。

一時的にピッチを上げる場合は、パッド 2 を押します。

ピッチ・フェーダーを下げる場合は、パッド 3 を押します。

ピッチ・フェーダーを上げる場合は、パッド 4 を押します。

キーロックを有効または無効にする場合は、パッド 5 を押します。

インターナルモード (INT) とリラティブモード (REL) を切り替えるには、Shift 4 キーとパッド 5 を押します（リラティブモードに切り替えると、バイナルやコントロール CD を使って再生のコントロールが可能です）。

Sync を有効または無効にする場合は、パッド 6 を押します。

キューポイントにスキップする場合は、パッド 7 を押します。

トラックを再生または一時停止する場合は、パッド 8 を押します。

スライサーループ

Shift 4 を押しながら **Slicer / Transport (54)** を押すと Slicer Loop モードにアクセスします。パッドの操作はスライサーモードと同じですが、8 スライスのフレーズがループして再生されます。

カスタム・パッドセット

標準のパッドモードに加えて、Serato DJ Pro の MIDI マッピング機能を使用して、最大 3 つのカスタマイズされたパッドセットを作成できます。

カスタム・パッドセットを作成する：

1. Shift 4 を押しながら、

Cue / Pitch Play(14)、**Roll / Pad FX(34)**、**Sampler / Fader FX(44)**のいずれかをを押します。

注：Serato Flip Expansion Pack を購入した場合は、Shift 4 キーを押しながら **Sampler / Fader FX (44)** のいずれかを押すと、カスタム・パッドセットではなくフリップ・コントロールにアクセスします。

2. Serato DJ Pro で、**Setup** メニューを開き、**MIDI** を選択します。

3. Seventy-Two を選択し、**Allow Serato DJ Hardware Remapping** が有効になっていることを確認します。セットアップ・ウィンドウを閉じます。

4. Serato DJ Pro ウィンドウで、画面上部の **MIDI** ボタンをクリックしマッピングを開始します。

5. Serato DJ Pro 上のアサインしたい機能をクリックしてから、ハードウェアの任意のコントロールを動かし、マッピングしていきます。

MIDI マッピングの詳細については、Serato DJ Pro のマニュアルを参照してください。

フェーダー

Seventy-Two のチャンネルフェーダーとクロスフェーダーは、可変カーブの調節が可能な非接触の MAG THREE フェーダーです。

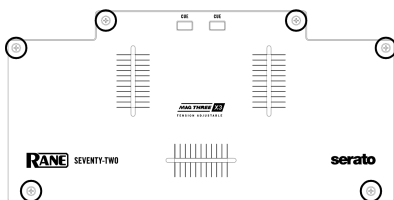
フェーダープレートのトップパネル

Seventy-Two のフェーダーカーブを調整する：

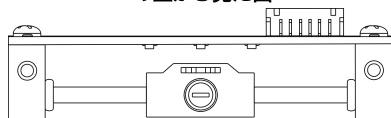
1. ユニットの電源がオフの状態、電源が供給されていない状態であることを確認します。
2. ドライバを使用して、トップパネル下部のフェーダーが設置されているフェースプレートのネジを外します（画像参照）。

注：フェースプレートを取り外すには、フェーダーキャップを取り外す必要があります。

3. ドライバを使用して、各フェーダーのテンション・スクリューを好みに合わせて調整します。



MAG THREE フェーダーの上から見た図



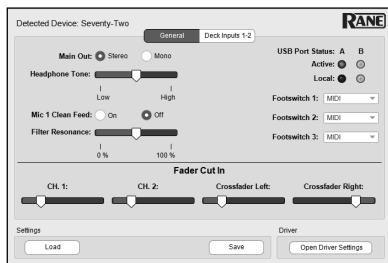
テンションスクリュー

コントロールパネル

Rane コントロールパネルでは、Seventy-Two ミキサーの設定を調整し、これらの設定をお使いのコンピュータのファイル (.r72) に保存または読み込みすることができます。設定ファイルを使用すると、さまざまな状況で使用する複数の異なるコントロール設定を保存できます。

設定ファイルを管理するには、Rane Control Panel の Settings セクションの General タブに移動します。

- **読み込み(Load)**：保存した Seventy-Two の設定ファイル (.r72) を、コントロールパネルにロードする場合に選択します。
- **保存(Save)**：ミキサーの設定を Seventy-Two の設定ファイル (.r72) として保存する場合に選択します。



付録

技術仕様

デジタル・オーディオ		
コンバーター	AKM 高品位オーディオ; 24 ビット PCM、48 kHz	
デジタル信号処理	32 ビット倍精度浮動小数点	
ダイナミックレンジ (A-weighted, unity gain)	ADC	114 dB
	DAC	114 dB
	CD 入力からアナログ出力へ	111 dB
	CD 入力から USB 出力へ	114 dB
	USB 入力からアナログ出力へ	114 dB
入力		
マイク 1/2 (コンボ XLR / 1/4 インチ [6.35 mm] TRS、マイク/ライン 切り替え可能)	アナログ・ゲイン 最大入力 ゲイン・トリム	30dB (マイク)、4.75dB (ライン) 0.126Vrms (マイク)、2.3Vrms (ライン) Off to +20 dB (unity at center)
Aux 入力 1/2 (RCA ステレオペア)	最大入力 ダイナミックレンジ (A-weighted)	4 Vrms 114 dB
CD/フォノ入力 1/2 (RCA ステレオペア、 切り替え可能)	CD	ライン
	最大入力 ダイナミックレンジ (A-weighted)	4 Vrms 114 dB
	フォノ	RIAA
	RIAA 曲線 ゲイン (@ 1 kHz) 最大入力 (@ 1 kHz)	+0.1/-0.2 dB 30 dB 126 mV
セッション入力 (RCA ステレオペア)	最大入力 ダイナミックレンジ (A-weighted)	4 Vrms 114 dB
出力		
メイン出力 (XLR)	周波数レスポンス 最大出力 THD+N (@ 1 kHz, 4 Vrms)	20 Hz to 20 kHz (± 0.2 dB) 8 Vrms 0.002%
ブース出力 (1/4 インチ/6.35 mm TRS)	周波数レスポンス 最大出力 THD+N (@ 1 kHz, 4 Vrms)	20 Hz to 20 kHz (± 0.2 dB) 8 Vrms 0.002%
セッション出力 (RCA ステレオペア)	周波数レスポンス 最大出力 THD+N (@ 1 kHz, 2 Vrms)	20 Hz to 20 kHz (± 0.2 dB) 4 Vrms 0.002%
ヘッドフォン出力 (1/4 インチ/6.35 mm および 1/8" [3.5 mm] TRS)	最大出力電圧 THD+N (@ 1 kHz, 2 Vrms) 出力電力 コントロール	4 V (no load) 0.003% 96 mW (50 ohms) オン/オフ ミューティング

一般	
表示	静電容量方式マルチタッチ・フルカラーディスプレイ 2.1" x 3.7" / 54 x 95 mm (幅 x 高さ) 4.3" / 109 mm (対角線)
パッド	ペロシティブ・センシティブ・マルチカラーバックライト・パッド (デッキあたり 8 個、各 10 個のモード) x16
フェーダー	MAG THREE テンション調整可能なフェーダー (2 チャンネル/ラインフェーダー、1 クロスフェーダー) x3
コネクター	XLR 出力 (メイン) x2 1/4 インチ (6.35mm) TRS 出力 (ブース) x2 RCA ステレオ入力ペア (デッキ 1-2) x4 XLR / 1/4 インチ (6.35mm) TRS 入力 (マイク 1-2) x2 RCA ステレオ入力ペア (セッション) x1 RCA ステレオ出力ペア (セッション) x1 1/4 インチ (6.35mm) TRS 出力 (ヘッドフォン) x1 1/8 インチ (3.5 mm) TRS 出力 (ヘッドフォン) x1 1/4 インチ (6.35mm) TRS 入力 (フットスイッチ) x1 USB タイプ A ポート (デッキ 1-2 USB コントローラ) x2 USB タイプ B ポート x2 IEC 電源ケーブル入力 x1
電源	接続 : IEC 電圧 : 100-240V、50 / 60Hz 消費 : 30 W
寸法 (幅 x 奥行き x 高さ)	11.2 インチ x 17.5 インチ x 4.13 インチ 285 x 445 x 105 mm
重量	12.3 ポンド 5.6 kg

仕様は予告なしに変更されることがあります。

商標とライセンス

Rane は、InMusic Brands、Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
Serato、Serato DJ Pro、NoiseMap および Serato ロゴは Serato Audio Research の登録商標です。
Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
他のすべての製品名、会社名、商標、または商号は、それぞれの所有者のものです。

無料修理規定

- 保証期間内に故障して、無料修理をご依頼の場合は、お買上げの販売店にご依頼の上、本書をご提示ください。
- ご贈答品などで本書に記入してあるお買上げ販売店に修理をご依頼できない場合には弊社カスタマーサポート部へご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) ご使用上の誤り、及び不当の修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買上げ後の取付け場所の移動、落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
 - (ニ) 消耗部品を取替える場合。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にご愛用者名、お買上げ日、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- inMusic Japan は、製品の使用不可能または不具合に基づく損害、また法律の定める範囲内での人身傷害を含める、いかなる二次的、及び間接的な損害賠償の責任を負いません。保証条件や本保証に基づき inMusic Japan が負う責任は、販売国の国内でのみ有効です。本保証で定められた修理は、inMusic Japan でのみ行われるものとします。

* この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後についてご不明の場合は、お買上げの販売店または弊社カスタマーサポートへご相談ください。

保証書	
製品名：	
製品番号：	
ご購入日：	
保証期間： ご購入日から一年間	
お客様	販売店
お名前：	販売店名：
ご住所：	ご住所：
お電話：	お電話：

inMusic Japan 株式会社 カスタマーサポート
〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23 オーク南麻布ビルディング6F
お問い合わせ： rane-dj.jp/support

- 本書に記入のない場合は、有効となりませんので、直ちにお買上げの販売店にお申し出ください。
- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。